



## ミュージアムライブラリー を楽しもう！

2013 年度版



### ミュージアムライブラリーの特徴

ライブラリーは博物館の2階にあり、無料スペースです。観覧券がなくてもどなたでも自由にご利用いただけます。ここでは来館者が展示を観て疑問に思ったことや、さらに深く学習したいといったニーズに応えるために、自然科学系の図書や雑誌を自由に閲覧できるようにしてあります。

例えば雑誌では、専門的な洋雑誌や和雑誌、同好会誌、学会誌などを購入や寄贈、交換といった形で収集し、来館者に自由に閲覧出来るように整理していますが、これはミュージアムライブラリーの特徴と言っても良いでしょう。公共図書館で自然科学系の専門的な洋雑誌や学会誌を所蔵しているところは少ないと思いますし、大学図書館を利用できる方も限られていると思います。

また、来館者の中には植物や昆虫、岩石や化石などを持ってきて質問する方もいます。こうした質問に対してはそれぞれの専門分野の学芸員がライブラリーで色々教えてくれるのですが、時にはライブラリーの図書を見ながら解説してくれるもあります。こういうところもミュージアムライブラリーの特徴と言えるでしょう。ですからライブラリーの図書や雑誌は館外貸出をしていません。学芸員が調査研究のために研究室に持って行く時でも『ライブラリー資料貸出簿』に記入していくことになっています。

最後にミュージアムライブラリーの最大の特徴として、専任の司書がいるということです。自然科学系の博物館に図書室があって図書や雑誌を公開し、専任の司書がいるところというのはとても少ないようです。普段はライブラリーの奥の事務室で、主に図書や雑誌の整理をしています。図書に関する質問があったときにはカウンターに出て来館者に対応しています。



### ミュージアムライブラリーの利用案内

ライブラリーでは、図書・雑誌の閲覧、パソコン検索（神奈川の自然など）が出来ます。3台あるパソコンはいつも子どもたちでいっぱいです。鳥の鳴き声が響き渡っています。

所蔵されている図書・雑誌は、ライブラリーのパソコンやご自宅のパソコンからインターネット上の当博物館ホームページにある図書・雑誌検索から検索することが可能です。

図書・雑誌の古いものは書庫にあります。閲覧したい場合は、カウンターにある『書庫内資料利用申込書』に記入してください。

ライブラリーでは、図書・雑誌の一般利用者への館外貸出は行っておりません。ライブラリー内のみの利用になります。

コピーサービスは著作権の範囲内で行っています。1枚10円（モノクロのみ）です。図書や雑誌をコピーしたい場合は、カウンターにある『ライブラリー資料複写申込書』に必要事項を記入して職員に渡してください。

また、郵送による文献複写のサービスも行っております。郵送による複写料金は1枚30円（他に郵送料がかかります）です。





## レファレンス

ライブラリーでは来館、電話、メールでレファレンスを受け付けています。

「〇〇〇という本はありますか？」という問い合わせに対しては、パソコンで蔵書検索をしてお答えしています。現在パソコンには約 20,000 件の図書データと約 3,500 件の雑誌データが入っています。

ライブラリーで所蔵していないときは、利用者の要望を聞いて他の図書館の蔵書を検索することがあります。まず、神奈川県立図書館や神奈川県内の公共図書館の蔵書を検索します。県内を協力車や連絡車が走っているので、読みたい本が県内のどこかの図書館で所蔵していれば、地元の図書館で取り寄せることが出来ます。神奈川県内の図書館で所蔵していないと、国立国会図書館を検索します。国会図書館で所蔵していれば、地元の図書館に取り寄せて閲覧することが可能です。

また、国会図書館の登録利用者になると、個人でも郵送複写サービスを受けることが出来ます。

国立科学博物館ホームページを見れば、図書と雑誌のデータベースがあります。見たい資料を検索して国立科学博物館が所蔵していれば、事前に利用者が申し込むことで、直接閲覧することも出来ます。

インターネットがあれば、図書館の蔵書検索など誰でも簡単に調べることが出来る時代になりましたが、全ての方がインターネットを使える環境にあるわけではないので、当館のライブラリーで所蔵していないものについてはできるだけ、どこで所蔵しているのか調べて答えるようにしています。



## 所蔵資料の紹介

ライブラリーで所蔵している図書は約 20,000 冊です。このうち、公開に出しているのは約 6,500 冊で、自然科学系の図書や雑誌、事典や図鑑、子ども向きの本などがあります。

書庫には、澤田文庫や櫻井文庫など寄贈していただいた図書を文庫としてまとめて保管しているものがあります。これらの文庫は古くて貴重な図書や雑誌を多く含み、ライブラリー資料の中核をなしています。

例えば、澤田文庫には植物関係の古い図書が多く、ケンペルの *Amoenitatum exoticarum politico-physico-mediciarum. fasc. 5. Rerum Persicarum&ulterioris Asiae* (『廻国奇観』1712年) やリンネの *Species plantarum* (『植物の種』1953年)、*Systema naturae per regna tria naturae* (1788-93年) などがあります。澤田文庫を調べるためには 1972 年に発行された『澤田文庫目録』が便利です。

櫻井文庫には鉱物や岩石、貝類関係の図書や雑誌、同好会誌などが多く含まれています。

雑誌では、*CURTIS'S Botanical Magazine* を 1787 年から 2013 年まで所蔵しています。この雑誌は現在も発行されていて、当館でも 1994 年から購入を続けている雑誌です。数冊所蔵されていない巻がありますが、今後ここを埋めることができればさらに貴重なコレクションになるでしょう。

100 年も 200 年も経った図書や雑誌は幾多の困難を越えて私たちのところにあります。たまたま当館のライブラリーで所蔵はしていますが、これらは私たちが代表してお預かりしていると言っても過言ではないでしょう。ですから、所蔵しているところでは今後 100 年 200 年経っても今と同じ状態で見ることが出来るように大切に保管していかなくてはなりません。

ライブラリーの図書や雑誌は誰でも自由に手に取って見ることが出来ますが、残念なことに盗難も後を絶ちません。一部の心無い利用者のために多くの方が迷惑を被ることになります。みなさんが気持ちよく利用していくためにも最低限のマナーは守ってほしいものです。